

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 三井住友トラストグループ株式会社（証券コード: 8309） （旧 三井住友トラスト・ホールディングス株式会社）

### 【据置】

長期発行体格付	A A
格付の見通し	安定的
債券格付（損失吸収条項付 Tier 2）	A A -
債券格付（損失吸収条項付 Tier 1）	A
発行登録債予備格付	
（損失吸収条項付 Tier 2）	A A -
（損失吸収条項付 Tier 1）	A

## 三井住友信託銀行株式会社（証券コード: -）

### 【据置】

長期発行体格付	A A
格付の見通し	安定的
債券格付（優先債）	A A
債券格付（期限付劣後債）	A A -
発行登録債予備格付	A A

### ■格付事由

- 三井住友トラストグループは、三井住友信託銀行（SMTB）を中核とする国内唯一の信託グループ。JCRは、グループ信用力を「AA」相当とみている。信託および関連分野における堅固な事業基盤、収益の安定性、非常に良好な貸出資産の質、高い資本充実度などを反映している。資産運用ビジネスの強化などを通じ、自社で抱えるリスクの拡大を抑制しつつ利益水準を向上させる戦略の成果に注目していく。
- グループの事業基盤は堅固である。信託事業では企業年金受託、資産管理、証券代行、遺言信託といった主要分野においてトップクラスのシェアを有する。企業・個人の不動産仲介など信託と関連のあるビジネスに強みを持つほか、傘下に三井住友トラスト・アセットマネジメントや日興アセットマネジメントを擁し資産運用事業におけるプレゼンスも高い。投資家の資産運用ニーズが多様化する中、外部運用会社との協業などを通じたプライベートアセット領域の強化にも注力している。こうした事業基盤を背景に、政策の後押しなどを受けた資産運用ニーズの高まり、資本効率への意識を強める企業の不動産戦略の見直し、高齢化が進展する下での相続・事業承継の機会の増加といったビジネスチャンスを捕捉できると JCR はみている。
- グループ連結の実質業務純益は堅調に推移している。業務粗利益に占める手数料関連利益の割合は 5 割超と一般的な商業銀行グループと比較して大きく、その中でも財管業務収益などストック型の手数料が過半を占めるため収益の安定性は高い。24/3 期は手数料関連利益の増加や債券関係損益の改善などにより、IT 投資やベアなどのコスト増加要因を吸収し実質業務純益は前期比で増益となった。リスクアセットや総資産対比でみた利益水準は高いとは言えないものの、主要行グループで遜色ない水準にある。
- 貸出資産は健全な状態が維持されている。グループ連結の金融再生法開示債権比率はかなり抑制されている。他の大手行と同様に大口与信リスクを抱えている点に留意する必要があるものの、高格付の大企業向けが中心となっている。採算を重視してプロダクト与信へのシフトを進めているが、当該ポートフォリオは多様なプロダクトへ分散されており、個別案件の選定も慎重に行われていると JCR はみている。海外与信に対するスタンスは保守的であり、不良債権はわずかな金額にとどまる。与信費用は抑制された水準で推移している。

(5) グループ連結の資本水準はリスク対比で十分な厚みを有している。その他有価証券の評価益などを控除した調整後 Tier1 比率は、成長投資や円安を背景とするリスクアセットの増加によりこの2年ほどは低下しているが、AA レンジに見合う水準は維持している。また、グループが進めている政策保有株式の削減は、評価益の実現などを通じて調整後 Tier1 比率を押し上げる要素になると JCR は考えている。今後、いわゆるパーゼルⅢ最終化の完全実施が資本水準を下押しする方向に働くとみられるが、格付に見合う資本水準は維持されると JCR はみている。

#### 発行体：三井住友トラストグループ株式会社

三井住友トラストグループの持株会社。発行体格付は、グループ信用力と同等としている。ダブルレバレッジ比率が一定水準を下回って推移していることや、財務運営方針などを踏まえると今後も大きく上昇する可能性が低いとみていることから、持株会社が有する構造劣後性を反映していない。

#### 発行体：三井住友信託銀行株式会社

三井住友トラストグループの中核会社であり、グループの総資産や収益の大部分を占める。発行体格付は、グループにおける位置づけなどを踏まえて、グループ信用力と同等としている。大手信託銀行として資金業務、財管業務の規模は業界トップクラスを誇る。堅固な事業基盤に支えられた安定的な財管業務収益があることに加え、経費率は約 50%と抑制されており、収益面でのストレス耐性は高いと言える。

(担当) 宮尾 知浩・古賀 一平

#### ■格付対象

#### 発行体：三井住友トラストグループ株式会社

#### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第2回無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	300億円	2015年6月5日	2025年6月5日	0.915%	AA-
第3回無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	300億円	2016年2月29日	2026年2月27日	0.66%	AA-
第4回無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	300億円	2016年12月19日	2026年12月18日	0.620%	AA-
第5回無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	100億円	2016年12月8日	2026年12月8日	0.620%	AA-
第6回無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	200億円	2017年6月8日	2027年6月8日	0.575%	AA-
第10回無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	200億円	2018年6月14日	2028年6月14日	0.550%	AA-
第14回期限前償還条項付無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	300億円	2020年9月11日	2030年9月11日	(注1)	AA-
第15回期限前償還条項付無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	100億円	2020年9月1日	2030年9月2日	(注2)	AA-
第16回期限前償還条項付無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	200億円	2021年12月21日	2031年12月22日	(注3)	AA-
第17回期限前償還条項付無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	100億円	2022年12月28日	2032年12月28日	(注4)	AA-
第18回期限前償還条項付無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	100億円	2022年12月20日	2032年12月20日	(注5)	AA-
第19回期限前償還条項付無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	310億円	2023年9月15日	2033年9月15日	(注6)	AA-
第20回期限前償還条項付無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	100億円	2023年9月5日	2033年9月5日	(注7)	AA-

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 21 回期限前償還条項付無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	400 億円	2024 年 9 月 17 日	2034 年 9 月 19 日	（注 8）	AA-
第 22 回無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	200 億円	2024 年 9 月 17 日	2034 年 9 月 15 日	1.927%	AA-
第 23 回期限前償還条項付無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	300 億円	2024 年 9 月 4 日	2034 年 9 月 4 日	（注 9）	AA-
第 24 回無担保社債（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付）	100 億円	2024 年 9 月 4 日	2034 年 9 月 4 日	1.927%	AA-
第 2 回任意償還条項付無担保永久社債（債務免除特約及び劣後特約付・適格機関投資家限定）	500 億円	2015 年 9 月 8 日	定めなし	（注 10）	A
第 3 回任意償還条項付無担保永久社債（債務免除特約及び劣後特約付）	700 億円	2016 年 9 月 8 日	定めなし	（注 11）	A
第 4 回任意償還条項付無担保永久社債（債務免除特約及び劣後特約付）	300 億円	2016 年 9 月 8 日	定めなし	（注 12）	A
第 5 回任意償還条項付無担保永久社債（債務免除特約及び劣後特約付）	700 億円	2017 年 9 月 5 日	定めなし	（注 13）	A
第 6 回任意償還条項付無担保永久社債（債務免除特約及び劣後特約付）	500 億円	2018 年 9 月 11 日	定めなし	（注 14）	A

（注 1） 2025 年 9 月 11 日まで年 0.53%。その翌日以降は 5 年物円スワップのミッド・レートに年 0.45%を加算し、小数点以下第 3 位を切り上げた率。

（注 2） 2025 年 9 月 2 日まで年 0.53%。その翌日以降は 6 ヶ月日本円タイボーに 0.45%を加算した率。

（注 3） 2026 年 12 月 22 日まで年 0.40%。その翌日以降は 6 ヶ月日本円タイボーに 0.26%を加算した率。

（注 4） 2027 年 12 月 28 日まで年 0.850%。その翌日以降は 5 年国債金利に 0.715%を加算した率。

（注 5） 2027 年 12 月 20 日まで年 0.850%。その翌日以降は 6 ヶ月日本円タイボーに 0.360%を加算した率。

（注 6） 2028 年 9 月 15 日まで年 1.149%。その翌日以降は 5 年国債金利に 0.910%を加算した率。

（注 7） 2028 年 9 月 5 日まで年 1.149%。その翌日以降は 6 ヶ月日本円タイボーに 0.579%を加算した率。

（注 8） 2029 年 9 月 19 日まで年 1.475%。その翌日以降は 5 年国債金利に 0.960%を加算した率。

（注 9） 2029 年 9 月 4 日まで年 1.475%。その翌日以降は 6 ヶ月日本円タイボーに 0.725%を加算した率。

（注 10） 2025 年 12 月 5 日まで年 2.87%。その翌日以降は 6 ヶ月円ライボーに 2.30%を加算した率。

（注 11） 2026 年 12 月 5 日まで年 1.51%。その翌日以降は 6 ヶ月円ライボーに 1.40%を加算した率。

（注 12） 2031 年 12 月 5 日まで年 1.73%。その翌日以降は 6 ヶ月円ライボーに 1.45%を加算した率。

（注 13） 2027 年 12 月 5 日まで年 1.28%。その翌日以降は 6 ヶ月円ライボーに 1.06%を加算した率。

（注 14） 2028 年 12 月 5 日まで年 1.39%。その翌日以降は 6 ヶ月円ライボーに 1.04%を加算した率。

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	7,000 億円	2024 年 8 月 3 日から 2 年間	（劣後特約及び実質破綻時債務免除特約付） AA- （債務免除特約及び劣後特約付） A

発行体：三井住友信託銀行株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 10 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2014 年 10 月 28 日	2024 年 10 月 28 日	0.585%	AA
第 15 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2020 年 6 月 19 日	2025 年 6 月 19 日	0.200%	AA
第 17 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2020 年 11 月 5 日	2025 年 11 月 5 日	0.180%	AA
第 18 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2021 年 1 月 27 日	2026 年 1 月 27 日	0.160%	AA
第 19 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2021 年 4 月 28 日	2026 年 4 月 28 日	0.140%	AA
第 20 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300 億円	2021 年 7 月 27 日	2026 年 7 月 27 日	0.130%	AA
第 21 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2021 年 11 月 8 日	2026 年 11 月 6 日	0.150%	AA
第 22 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2022 年 1 月 26 日	2027 年 1 月 26 日	0.180%	AA

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2022年7月15日	2027年7月15日	0.400%	AA
第24回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2022年11月7日	2027年11月5日	0.445%	AA
第25回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80億円	2022年11月7日	2032年11月5日	0.799%	AA
第26回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2023年1月25日	2028年1月25日	0.683%	AA
第27回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2023年6月6日	2033年6月6日	0.851%	AA
第28回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	470億円	2024年1月25日	2029年1月25日	0.544%	AA
第29回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	700億円	2024年7月22日	2029年7月20日	0.898%	AA
第30回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2024年7月22日	2034年7月21日	1.466%	AA
住友信託銀行株式会社第6回無担保社債（劣後特約付）	200億円	2006年4月27日	2026年4月27日	2.78%	AA-
住友信託銀行株式会社第8回無担保社債（劣後特約付）	100億円	2007年5月10日	2027年5月10日	2.49%	AA-
住友信託銀行株式会社第13回無担保社債（劣後特約付）	200億円	2011年6月15日	2026年6月15日	2.341%	AA-
住友信託銀行株式会社第14回無担保社債（劣後特約付）	230億円	2011年9月28日	2026年9月28日	2.159%	AA-
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	3,000億円	2023年4月12日から2年間		AA	

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年9月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩  
主任格付アナリスト：宮尾 知浩
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「銀行等」(2021年10月1日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)、「金融機関等が発行する資本商品・TLAC商品の格付方法」(2017年4月27日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 三井住友トラストグループ株式会社  
三井住友信託銀行株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
なお、本件の対象である損失吸収条項付商品につき、約定により許容される利息の支払停止または元金支払義務の免除が生じた場合、当該支払停止や免除は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル